

下北手地区の伝統文化

太平山三吉神社 三吉梵天祭

1 歴史、概要

梵天祭は江戸時代頃に始まった秋田県固有の特殊神事で、梵天（ぼんでん）と呼ばれる依代（よりしろ）を毎年1月17日に三吉神社に奉納している。

五穀豊穡や家内安全・産業発展などを祈願して梵天を奉納する町内梵天を始め、現在では商売繁盛・安全祈願の法人・団体の梵天や、子どもの健やかな成長を祈る子供会・スポ少の子供梵天など、様々な団体・グループが1年の幸を願い梵天を奉納している。



2 継承のための取組み

■三吉梵天祭

- ◆下北手小・中学校の児童・生徒たちが、地域の梵天祭実行委員会に協力してもらいながら祭りに参加している。（令和5年度まで、小中合同梵天祭りに参加していたが、中学校が閉校となるため、小学校も中学校と同様に梵天を奉納して終いとした。）
- ◆祭り当日は、お神酒等を供え、祭事を行い、学校札をかざしながらほら貝を轟かし、梵天唄を唄いながら神社を目指し、梵天を奉納している。
- ◆子どもたちにとって地域に伝わる伝統行事の緊張感のある空気を肌で感じ、地域に愛着と誇りをもつことができる絶好の機会となっている。

3 その他(小学生が関わっている地域行事等)

■地区民体育祭（地区リンピック）

- ◆全市一斉スポーツレクリエーション大会にあわせて、下北手地区の運動会として、下北手小・中学校、地域の合同開催で実施している。（令和6年度は、小学校と地域の合同開催予定）

■地区敬老会

- ◆地区敬老会に2年生がメッセージカードやビデオレターを送る活動を実施している。

